

LABORATORY BIAX-LINE

世界初、研究室で完結するインライン二軸延伸ソリューション

LABTECH ENGINEERING と BRÜCKNER MASCHINENBAU による共同イノベーション

産業用の二軸フィルム製造をラボへ

Laboratory Biax-Line は、Labtech Engineering と Brückner Maschinenbau が共同開発した、ラボスケールのインライン二軸延伸ソリューションです。Labtech のポリマー押出および機械方向延伸 (MDO) の知見と、Brückner の業界をリードする横方向延伸 (TDO) 技術を融合し、高性能な二軸延伸フィルムの開発・最適化に向けた先進的な研究プラットフォームを提供します。ラボ研究と商用フィルム生産のギャップを埋める設計により、産業用 BOPP、BOPE、BOPET、BOPA、BOPETG、BOPA の生産ラインで採用される逐次延伸の原理をそのまま用いて、新素材やフィルム構成の評価が可能です。

主な特長

- ラボスケールのインライン逐次二軸延伸システム一式
- ポリマーペレットから完成フィルムロールまで連続プロセス
- 産業プロセスの考え方を踏襲した逐次二軸延伸
- 単層・多層フィルムの製造に対応
- 3層 (ABC)、5層 (ABCDE)、オプションで7層

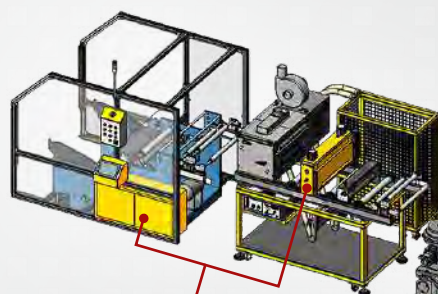
用途

- ポリマー／材料研究
- フィルム延伸 (配向) 評価
- 新規フィルム製品の開発
- フィルム構造の評価

対応材料

- ポリプロピレン (PP)
- ポリエチレン (PE)

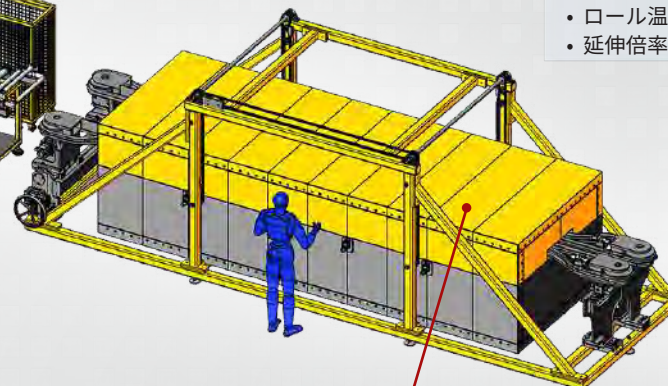
PET、PETG、PA、PLAについては、オプションの機器やラインの改造が必要となる場合があります。



Labtech 後工程装置

- エッジトリムユニット
- オプション コロナ処理装置
- 自動差サーフェイスワインダー

ライン速度：15 m/min
フィルム厚み：8-80 μ m
フィルム幅：最大 300 mm
外形寸法 (L×W×H)：20.4 × 4.4 × 2.5 m

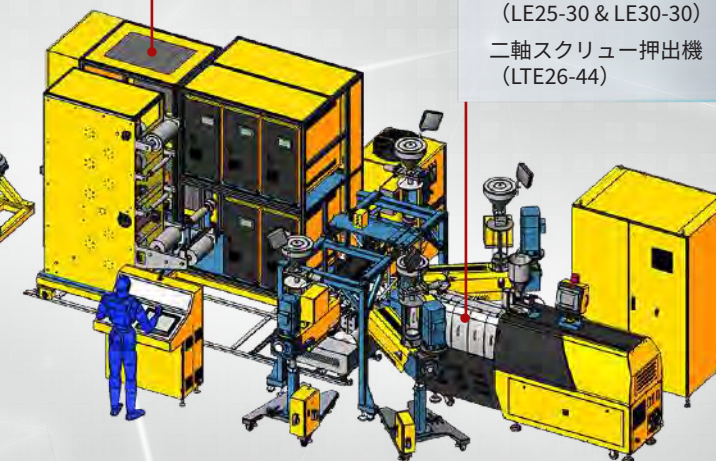


Brückner ラボ用 TDO

- 最大フィルム幅：最大 300 mm
- 優れた温度安定性
- 延伸倍率：最大 10 倍 (TD：横方向)

Labtech LMDO-350/250

- 最大フィルム幅：最大 300 mm
- ライン速度：最大 30 m/min
- ロール温度：最大 120 °C
- 延伸倍率：最大 10 倍 (MD：機械方向)



Labtech 押出システム

単軸スクリーン押出機
(LE25-30 & LE30-30)
二軸スクリーン押出機
(LTE26-44)

* Labtech 代理店向け社内使用限定

